

平成30年度 対策一覧表

鳴沢小学校

平成30年7月 時点

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	要望内容	検証結果	事業主体	対策年度
1	国道139号線	総合センター南の交差点	夕日で信号や歩行者が見えづらい。	・信号を見やすくしてほしい	地形上の問題が大きく、現在設置されている信号はLED信号で、ひさしもついているため、現状以上の対策は困難。(富士吉田警察署確認)	—	—
2	国道139号線	総合センター南の交差点	横断歩道を渡る際、安富歯科側から左折する車は信号がないため、歩行者を確認せず国道の車が止まっているからと急いで左折しようと進入してきて大変危険。	・歩行者ありの看板を設置する。 ・南北の進行方向にも信号を設置する。	横断歩道の看板等が設置されており、看板を増やすことにより死角が生じる恐れがあるため、看板の設置は困難。南北方向に信号機を設置することによりセンター東の交差点に車が流れることとなり、さらに危険な状況になる恐れがあることや、村内から国道に出る交通量が信号機設置基準に達していないため、設置は困難。 信号機、横断歩道、看板等が全て機能的に設置されているため、現状以上の対策は難しい。	—	—
3	村道94号線	小学校校庭西側丁字路	ミラーはあるが飛ばしてくる車が多い。横断歩道もないため子どもが渡りそうになって急ブレーキを踏むことがある。	・ミラー側に子どもがわかるように左右を確認する表示をつける。 ・カーブする車がわかるようにスピードを落とす表示をつける。	路面ステッカーと看板の設置を検討する。	道路管理者	H30
4	村道594号線	ヘアースalonコバヤシ付近5差路	国道渋滞時や朝の通勤時に国道から左折し、減速せず5差路を抜ける車あり。5差路にも注意表示はあるが減速効果は見られない。	・信号手前を左折する車が5差路に進入する手前に一時停止線を引く。	効果的な路面表示を検討する。周辺企業への指導を行う。児童の待ち合わせ場所変更の指導をお願いする。	道路管理者 教育委員会 学校	H30

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	要望内容	検証結果	事業主体	対策年度
5	村道 I - 2号線	村民体育館～ ふじてんスノー リゾート	・大型車が多くスピードを出し 歩道側にはみ出すが、横断歩 道がないため横断するのが危 険。	・車道と歩道を分けるガード レール、植栽、縁石などの設 置。 ・路面への表示(横断注意、通 学路 等) ・横断歩道の設置	昨年度の検証と同様に、横断歩 道の設置は交通量及び利用人 数が規定に満たないため不可 能であり、歩道と車道を分離する植 栽や縁石の設置も不可能である ため、今後も横断には十分注意 し、グリーンベルトを利用するよう 指導していただく。	学校	H30
6	林道茅つけ大田和線	ラッキーオート ～マキノ	マキノ関連の通勤者、トラック が多い。 歩道がない。 道幅が狭い(車がすれ違うの がやっと)。	注意を促す看板等(子どもの 飛び出し注意・通学路注意等) を設置してもらいたい(道幅を 広げて歩道を作ってもらおうのが ベストだが)。	路側帯の設置を検討する。	道路管理者	H30

【対策検討メンバー】教育委員会、小学校、PTA、甲府河川国道事務所、富士・東部建設事務所、富士吉田警察署、鳴沢村振興課、鳴沢村企画課、SGL